

令和4年度 学校関係者評価委員会 評価結果報告

埼玉医療福祉会看護専門学校

1. 開催日時：令和5年5月29日（月） 14時～15時20分
2. 場 所：埼玉医療福祉会看護専門学校2階研究室1
3. 出席者：原嶋 弥生（埼玉医科大学病院看護部長）
横塚 智実（丸木記念福祉メディカルセンター看護部長代行）
村田 亨（同窓会会長 <丸木記念福祉メディカルセンター精神療養
第2病棟看護師長>）

（敬称略）

オブザーバー：藤山 トキ（埼玉医療福祉会看護専門学校 副校長）
大野 敏之（埼玉医療福祉会看護専門学校 事務長）

4. 配布資料

- ・令和4年度埼玉医療福祉会看護専門学校自己評価結果
- ・令和4年度学校運営方針
- ・令和4年度学校運営に関する業務
- ・令和4年度8領域別看護教育自己評価表
- ・令和4年度授業評価
- ・21回生卒業時到達目標評価結果

5. 進行

- ・1～10の項目について、藤山が補足説明を加えながら話し合い評価した。

6. 評価項目

- ① 教育理念・目的・人材育成像
- ② 学校運営
- ③ 教育活動
- ④ 学修成果
- ⑤ 学生支援
- ⑥ 教育環境
- ⑦ 学生の募集と受入れ
- ⑧ 財務
- ⑨ 法令遵守
- ⑩ 社会貢献・地域貢献

7. 結果

- 項目別評価結果

<評価基準>適切4、ほぼ適切3、やや適切2、不適切1

(1) 教育理念・目的・人材育成像

1-1	学校の教育理念・目的・育成人材像は定められているか	4
1-2	理念等の達成に向けた特色ある教育活動に取り組んでいるか	4

評価コメント(自由記述)

医療を取り巻く社会情勢の変化に対応した教育理念・目的・人材育成像がしっかり設定されている。令和4年スタートした改正カリキュラムの法改正の主旨に準じて適切に運営されている。とくにコミュニケーション能力や社会性が身につけていないことによる、入職後の早期退職を回避するうえでも、基礎教育段階で「社会人基礎教育」に取り組んでいることに大いに期待している。

(2) 学校運営

2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
2-3	学校運営のための組織を整備しているか	4
2-4	意思決定システムは、規則・規程等で明確にしているか	4
2-5	情報システム化等により業務の効率が図られているか	3

評価コメント(自由記述)

年度初めに立てた学校運営方針と各学年の経営方針に基づいて運営されている。運営に関する案件は運営会議、教員会議や他の委員会で協議している。決定事項は教員に周知されている

情報のシステム化について通信環境は整備できたが、まだまだ紙媒体で行っているのが現状である。集計作業等は、電子化することで教員が主たる職務に専念できるようになればよいと考える。

(3) 教育活動

3-1	教育の理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか	4
3-2	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4
3-3	授業評価の実施体制はあるか	4
3-4	資格・免許取得の指導体制はあるか	4
3-5	教員の質向上への取組みは行っているか	4
3-6	教員の組織体制を整備しているか	4

評価コメント(自由記述)

新たな評価方法の導入や、成績評価および単位・卒業認定に関する細則が令和4年度に改訂されている。学則第21条に判定基準が定められ、適切に運営されている。

ただし、3科目不認定ルールが廃止となったことで、学力下位層の学生が、どのような支

援を受け、国家試験に合格し、臨床に出てくるのか、看護師として働いていけるのか、不安な部分もある。

教員はオンラインの研修に参加。看護学校協議会主催教務主任研修受講修了者1名。臨床サイドからみて、教員の質が下がったと感じることはない。

(4) 学修成果

4-1	就職率の向上が図られているか	4
4-2	資格・免許の取得率の向上が図られているか	4
4-3	卒業生の社会的評価を把握しているか	4

評価コメント(自由記述)

埼玉医科大学系列への就職率が高く、国家試験対策を1年次から実施している。模擬試験結果等で成績別に分けて勉強会を実施している。とくに成績下位層の学生に対しては、個別指導を行うなど対策が講じられている。ただ、Dチーム(成績が一番低いグループ)が学校に来てどのように学習しているのか、それに対し、どのような教員の関わりがあるのか気になった。

昨年度の課題であった卒業生の社会的評価が把握できている。

(5) 学生支援

5-1	退学の低減が図られているか	4
5-2	学生相談に関する体制を整備しているか	4
5-3	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4
5-4	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4
5-5	学生寮の設備などの生活環境支援体制を整備しているか	4
5-6	保護者との連携体制を構築しているか	4

評価コメント(自由記述)

面接で学生の健康状態、学習面、悩みなどを把握し、学習指導や生活指導に活かしている。学力の低い学生も受けざるを得ないなか、メンタル不調など一人で複数の問題を抱えている学生が在籍していることが理解できた。心身に不調をきたしている学生には、心理学の非常勤講師にカウンセリングを依頼するなど対応をしている。

カウンセリングだけではなく、学生の自己効力感や主体性を向上させる「社会人基礎力」育成が重要と考える。

学生の健康管理に関しては、健康管理委員会が組織されている。法人として協力できることがあれば、積極的に協力していきたい。

(6) 教育環境

6-1	教育上の必要性に十分対応した施設、教育用具等を整備しているか	3
6-2	学外学習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	NA
6-3	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3

評価コメント(自由記述)

オンライン授業の実施と令和5年度から電子テキスト導入準備として、通信環境が整備された。その他の教育用具に関しては、ある程度整備されている。

6-2に関しては、コロナ禍であることもあり、実施できずNAとした。

防災に関しては、学校単独では難しい。キャンパス全体で防災対策計画を立て、取り組んでいく必要があると考える。

施設整備として、学生から温水・暖房便座の要望がある。

(7) 学生の募集と受入れ

7-1	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4
7-2	学生募集活動を適切に、かつ、効果的に行っているか	3
7-3	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4
7-4	入学選考に関する実績を把握しているか	4
7-5	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4
7-6	入学辞退者に対し、授業料等について適正な取り扱いを行っているか	4

評価コメント(自由記述)

新型コロナウイルス感染防止に努めながら、学校訪問、学校説明会を開催している。学校説明会では参加者に興味を持ってもらえるように内容を工夫している。学生確保の広報活動としてホームページの更新は必要と考える。

学納金は適切に設定されている。

(8) 財務

8-1	学校及び法人運営の財務基盤は安定しているか	2
8-2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	2

評価コメント(自由記述)

財務は法人経理が担当している。入学志願者の減少と退学者の増加により、収入が減少している状況にある。財務情報はホームページ上に公開されている。

(9) 法令遵守

9-1	法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4
9-2	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4
9-3	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4
9-4	自己評価結果を公表しているか	4
9-5	学校関係者評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4
9-6	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4

評価コメント(自由記述)

看護師養成所の指導調査で指摘事項もなく、関係法令・設置基準を遵守し運営されている。14条報告において、教員の専任教員研修受講者をゼロにする事項、学生定員オーバーに関する事項を改善するように留意事項としてあったが、いずれも令和4年度はほぼ改善している。

(10) 社会貢献・地域貢献

10-1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	2
------	---------------------------------	---

評価コメント(自由記述)

新型コロナウイルス感染症前までは関連施設のイベントにボランティアとして参加していたが、今後周囲の状況によっては、ボランティア募集等の情報提供等があってもよいのではないかと考える。例えば地域との交流、ハピネス館でのこども食堂のボランティア等。